

# 11-補助

## 上皿てんびんの使い方

### 【上皿てんびん】

◇てんびんは、ものの重さを比べる道具である。上皿てんびんは、重さがきちんと決められている分銅ぶんどうと「重さをはかりたいもの」を比べることで、ものの重さを正確にはかることができる。

### 【上皿てんびんで重さをはかるう】

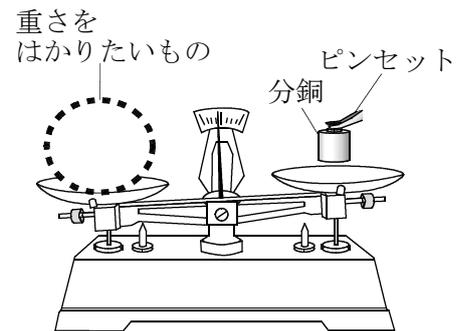
目 的：上皿てんびんで、スティックのりの重さを調べる。

- ① 上皿てんびんが釣り合っていることを確かめる。

※正面から見て、針が左右同じはばでふれるとき、釣り合っている。

- ② スティックのりを左の皿に静かにのせる。  
③ 分銅をピンセットで持って、重いものからのせる。分銅が重すぎるときは、次に軽い分銅にかえる。軽いときは、次に軽い分銅を加える。

- ④ 上皿てんびんが釣り合ったときの分銅の重さを確かめる。



※左ききの場合は、左右の皿にのせるものを反対にするとはかりやすい。

- (1) 上皿てんびんの使い方として正しくないものはどれか、ア～エから1つ選びなさい。

ア 上皿てんびんを使わないときは、支点がいたまないように皿を一方に重ねておく。

イ 重さをはかるときは、上皿てんびんの針がきちんと止まるまで待つ。

ウ 水や薬品がてんびんにつかないように注意し、よごれたらすぐにふきとるようにする。

エ 皿に何ものせていないとき、釣り合っていないければ、調節ねじで調節する。

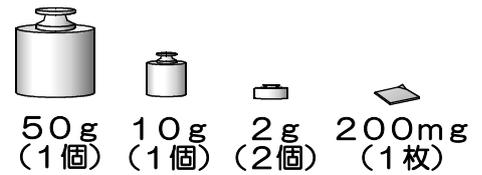
- (2) 上皿てんびんを使うときには、どのような場所に置くとよいか、書きなさい。

- (3) 分銅をピンセットで持つのは何のためか、書きなさい。

(4) スティックのりをつり合ったときの分銅は、図1のようになった。スティックのりの重さは何gか。

g

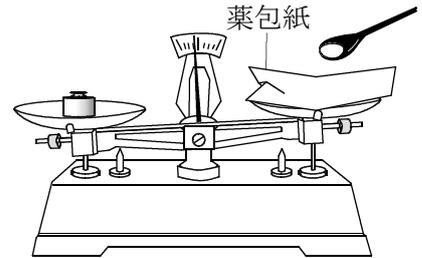
図1



(5) 上皿てんびんで、食塩を5gはかりとる場合は、5gの分銅を左の皿にのせて、右の皿に食塩を少しずつ加えてつり合わせる。

図2のようにしてはかると、5gの食塩を正しくはかりとることができない。どのように直せばよいか、書きなさい。

図2



(6) 次の          の分銅をどのように組み合わせると、はかりたい重さになるか。①、②について、必要な分銅の種類と個数を書きなさい。ただし、使用する分銅の個数が一番少なくなるようにすること。

100g (1) , 50g (1) , 20g (1) , 10g (2) , 5g (1) ,  
 2g (2) , 1g (1) , 500mg (1) , 200mg (2) , 100mg (1)  
 ※ ( ) 内の数字は分銅の数を表している。

① 25.6 g

② 147.9 g